

第三級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法

規

〔1〕 無線局の免許状に記載される事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

1. 通信の相手方及び通信事項
2. 通信方式
3. 無線設備の設置場所
4. 無線局の目的

〔2〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人が、変更後許可に係る無線設備を運用するためには、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められなければならない。
2. 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出なければならない。
3. あらかじめ運用開始の予定期日を総務大臣に届け出なければならない。
4. 工事が完了した後、運用したい旨総務大臣に連絡しなければならない。

〔3〕 電波法に規定する電波の質に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

1. 周波数の偏差及び幅
2. 信号対雑音比
3. 電波の型式
4. 変調度

〔4〕 次の記述は、「無線従事者」の定義である。電波法の規定に照らし、正しいものを次のうちから選べ。

1. 無線局に配置された者をいう。
2. 無線従事者国家試験に合格した者をいう。
3. 無線設備の操作を行う者であって、無線局に配置された者をいう。
4. 無線設備の操作又はその監督を行う者であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。

〔5〕 第三級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、25,010kHzから960MHzまでの周波数の電波を使用する陸上の無線局の無線設備（レーダー及び人工衛星局の中継により無線通信を行う無線局の多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

1. 500ワット
2. 100ワット
3. 50ワット
4. 25ワット

〔6〕 無線従事者がその免許を取り消された場合、無線従事者の免許が与えられないことがあるのは、取消しの日からどれほどの期間を経過しない者か。次のうちから選べ。

1. 6箇月
2. 1年
3. 2年
4. 1年6箇月

第三級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
2. 無線通信は、長時間継続して行つてはならない。
3. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
4. 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。

〔8〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 免許証を失ったとき。
4. 電波法に違反したとき。

〔9〕 総務大臣が無線局の免許を取り消すことができるのは、免許人が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときか。次のうちから選べ。

1. 6箇月
2. 3箇月
3. 2箇月
4. 1箇月

〔10〕 無線局の免許人は、電波法に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. その無線局の電波の発射を停止させる。
2. その無線局の免許人にその旨を通知する。
3. その無線局の免許人を告発する。
4. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。

〔11〕 無線局の免許がその効力を失ったときに免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 直ちに廃棄する。
2. 2年間保管する。
3. 3箇月以内に返納する。
4. 1箇月以内に返納する。

〔12〕 陸上移動局（包括免許に係る特定無線局を除く。）の免許状及び無線局免許証票は、総務大臣が別に定める場合を除き、どこに備え付けておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 免許状は無線設備の常置場所に、免許証票はその送信装置のある場所に備え付ける。
2. 免許状は免許人の住所に、免許証票は総務大臣が別に告示する場所に備え付ける。
3. その送信装置のある場所に備え付ける。
4. 免許状は基地局の無線設備の設置場所に、免許証票は無線設備の常置場所に備え付ける。